



藤田 直子

一斉清掃の不測
事故対応の補償は

市民部長
各保険制度あり



藤田 法定外を除く市道沿いのり面及び水路の雑草地は、市管理でコンクリート固めか除草はできないのか。

藤田 小城駅舎のこれまでの白アリ駆除防除の経過は。明である。

その他の質問

建設部長 小城市所有になつてから白アリ駆除は行っていない。JR九州佐賀鉄道事業本部でもなく、小城市スポーツ協会との経緯。○小城弥生土偶時代確定。○小城市スポーツ協会と行政運営

藤田 一斉清掃中不測の事故への対応は180地区にどのように周知されているのか。

市民部長 全国市長会市民総合賠償保険が市にあり、各自治会で自治活動保険がある。



▲市道沿いのり面および水路の雑草地



深川 高志

令和6年度予算
編成方針とは

市長
施策や事務事業の評価
結果を踏まえて検討



深川 令和6年度予算編成については、定期的に来年度当初予算の編成方針が各課に通知され、要求書提出やヒアリング等の作業が行われていくことから、小城市の令和6年度予算編成方針及び予算査定における重点項目とは。

度を考えて、事務事業のスクラップ・アンド・ビルドを行うとともに、施策や事務事業の評価結果また、新規事業の事前評価結果を踏まえてゼロベースで事業を検討することを基本的な考えとしてしている。

市長 予算編成の基本方針として、基金とふるさと応援寄附金に頼らない予算編成を目指し限られた人的資源や財源を有効に活用、配分するため、部としての戦略を明確にしながらか検討を行う。経常的な経費については、引き続き経費の縮減を行うと同時に、事業の優先

市長 予算編成の基本方針として、基金とふるさと応援寄附金に頼らない予算編成を目指し限られた人的資源や財源を有効に活用、配分するため、部としての戦略を明確にしながらか検討を行う。経常的な経費については、引き続き経費の縮減を行うと同時に、事業の優先

教育長 児童・生徒の不登校対策、教職員の多忙化対策として、教育施設の老朽化による修繕、改修等の教育委員会内



▲令和6年度当初予算編成中の小城市役所



赤松 貴子

地域おこし協力隊の今後の考え方

市長

支援できるところは支援していきたい



赤松 地域おこし協力隊の今後の市としての考えは。

市長 任期を続けるか終わるにしても何らかの形で関わってもらえるなら、市としても支援できることはしていく。

赤松 「リビングラボ」の今後の展開は

総務部長 ①第一弾では「小城を知ってもらい、きっかけとなる特産品・お土産品を開発しよう」というテーマで開催。特に新しい小城羊羹として開発されたorganicは販売開始から3年超で累計販売個数が5万個を超え



▲地域おこし協力隊のふたり

※リビングラボ(Living Lab)とは、まちの主役である住民が主体となって、暮らしを豊かにするためのサービスやモノを生みだしたり、より良いものにしていく活動。

赤松 「たなだ部」の今後の展開は

総務部長 たなだ部は耕作放棄地の解消にとどまらず、地域活性化や教育の観点からも高い価値があると捉えており、来年度以降も継続して取り組んでいく。

教育長 小城市内の中学校では協力隊の方に依頼し、社会科の授業の中で小城の魅力など話をし

て、協働的な授業展開をされている。各学校でも情報共有しながら、ゲストティーチャー、体験活動の重要性を教育活動の中に展開していきたい。



中尾 勝吉

小城市給食センターの運営状況は

教育長

当初は課題もあったが順調に運営している



供している。当初は、幾つかの課題もあったが現在は提供量も安定し順調に運営をしている状況。



▲9月より稼働している小城市給食センター

中尾 新しい小城市給食センターは、うまく運営しているか。

教育長 小城市給食センターはスタートして3カ月になる。毎日2つの献立、市内の小中学校10校と幼稚園1園の11ヶ所に3,800食の給食を提

水田農業について

中尾 以前から水田農業者より要望されている水田の湿害対策、有害鳥獣被害について現在、どのような政策をしているか。

教育部長 給食の献立の成長に必要な栄養バランスを考え組み立てている。給食の食べ残した状況を基に食材の調理方法や味付けなど工夫し、日々調整している。全体

か。

産業部長 湿害対策については有材暗渠事業を以前行なったが、現在行っていない。カモ、ジャンボタニシの食害対策についても行っていない状況。今後は、国、県や関係機関などと連携を図りつつ、被害状況を注視し検討していく。



江島佐知子

児童の安全確保の 取り組み強化を

教育長

教育総務課で安全計画を取り
まとめ実施する



江島

①放課後児童クラ
ブの来年度の待機児童の
見通しは。②放課後児童
クラブでは令和6年4月
より安全計画の策定が義
務付けられている。児童
の安全確保についての取
り組みと計画策定の方向
性は。

教育長 ①待機児童が予
想される。学校周辺施設、
敷地内の仮設プレハブ設
置等も視野に待機児童解
消に向けて検討する。②
部屋、遊具、トイレ等の
点検や消毒は毎日実施。
支援員へは熱中症対策、
応急手当、AEDの使い
方の研修を実施。児童に
対しては冬休みに訓練を
実施する。安全計画につ



▲放課後児童クラブ避難訓練
(冬休みに実施)

原子力災害時の受け 入れ体制は十分か

江島

小城市は、あつて
はならないが原発事故の

いては、12月に各クラブ
から提出してもらい、教
育総務課で取りまとめを
する。緊急時は子ども
の保護者へ引き渡し等も計
画に示していきたい。

実際の玄海町、唐津市の一
部の避難地区となってい
る。受け入れ体制はでき
ているか。

市長

小城市は原子力災
害時には市の施設に受け
入れ、運営を補助する役
割がある。情報を的確に
伝え、施設側としても把
握するよう対応したい。



満岡 利宏

観光政策の目指す べき将来像は

市長

魅力あふれる地域資源を誇れ
る資源にする



満岡

リビングラボの手
法を用いたサイクルツー
リズムを、今後どのよう
に観光に生かし、どのよ
うな仕組みづくりを考え
ているか。

産業部長

以前のようにな
るように、施設の整備や
大がかりなイベントとし
ての復活は考えていない
が、地元と観光協会が取
り組んでいるこのイベン
トには、小城市としても
協力していく。

総務部長

食というの
は、小城市を訪れる観光
客を含め楽しみでもあり
関心の高いものと認識し
ているので、来てよかつ
たーとともに、エリア全
体で来場者が一日楽しめ
な施設づくりに努める。

満岡

清水の鯉料理振興
会などで竹灯りを復活さ
せようと昨年から取り組
んでいるが、少しずつで
も竹灯りを復活できない
か。



▲復活が期待される清水竹灯り



前田 博己

学校給食費、実質
無償化の考えは

教育長

恒久的な財源が必要で大きな
課題がある



前田 学校給食費を実質
無償化すべきと考えるが
教育委員会の考えは。

教育長 一度、無償化し
た場合、年間1億8千万
円程度が恒久的に必要で
現段階では一般財源を投
入しなければならず、大
きな課題、問題がある。

前田 子育て世代、生産
年齢人口層への支援を拡
充した自治体は生産年齢
人口が増加し、やらない
自治体からは流出してい
る。今定例会の中でも、
執行部は税込減少の理由
に生産年齢人口の減少を
何度もあげている。国が
無償化をしてしまったら
その時点でゲームセッ

ト。国が動く前
に、将来への投
資として給食無
償化を今、実現
すべきと考える
がいかがか。

教育長 課題山
積の中で、早急
に取り組まなけ
ればならない事
業が他にも立て
続けにある。現
段階では難しい
と考えている。

その他の質問

○持続可能な財政運営に
ついて
○市民病院の運営全般と
跡地利用

○市役所窓口業務の利便
性向上策
○生活保護の現状と市の
考え方



▲議会への試食会で提供された学校給食



西 正博

聴覚障がい者支援
への市の考えは

市長

手話言語条例制定の検定も含
め環境を進める

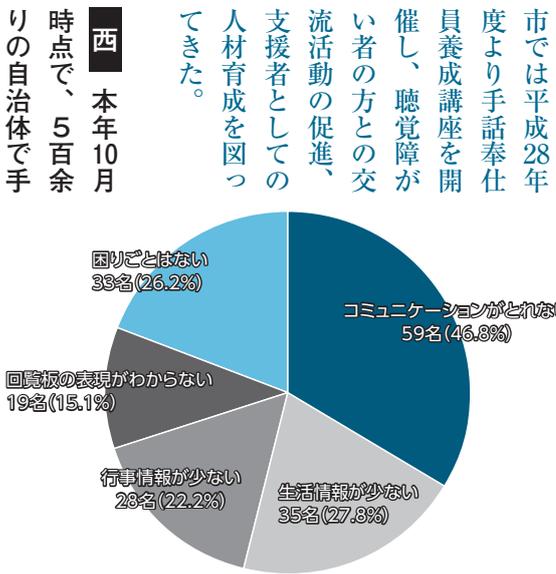


西 聴覚障がい者の方
のオリンピックの大会が
再来年に日本で初めて開
催される。4年に一度、
世界的規模で行われる聴
覚障がい者のためのス
ポーツ競技大会で、第1
回大会から数えて百周年
に当たる節目の大会にな
るとのことだ。全日本ろ
うあ連盟のサイトには、
前回のブラジル大会にお
いて日本の選手が良い成
績を収めたとの情報が伝
えてあった。小城市にお
いて聴覚障がいのある
方々のスポーツ参加や文
化芸術に取り組む環境な
ど、基盤整備としてどの
ような取り組みをしてい
るのか。

福祉部長 小城
市では平成28年
度より手話奉仕
員養成講座を開
催し、聴覚障が
い者の方との交
流活動の促進、
支援者としての
人材育成を図っ
てきた。

西 本年10月
時点で、5百余
りの自治体で手
話言語条例が制
定されているとのこと、
市長の考えは。

市長 平成30年に佐賀県
で条例を制定、施行し
た。小城市では、関係す
る方々も含め意見交換を



佐賀県聴覚障害者くらしのニーズ調査報告書

▲聴覚障がい者の方が地域活動で困っていること

重ねている。今後も条例
制定への検討を重ね、共
生社会の実現に向け環境
づくりを進めていきたい。



松並 陽一

子どもタブレットの持ち帰りは

教育長

家庭での活用のあり方をさらに研究していく



松並 貸出し用のWi-Fiルーターは400台購入され、31台の貸出しにとどまっているが、有効活用できないか。

教育長 課題だと認識している。

松並 学校のエアコンの故障への対応は。

教育部長 予算化に向けて確認する。

松並 水害時の避難所にもなったことがある、牛津、砥川校区の学校の体育館へのエアコン設置について、令和7年度まで起債でき、交付税措置率70%の緊急防災、減災事

業などを活用して設置できないか。

教育部長 市内の学校の大規模改修と併せて検討していく。

学校給食センターの運用

松並 食材高騰

による給食費値上げが発生しないように、市では昨年度と今年度は給食費を補助している。来年度も継続できないか。

教育部長 物価高騰対策事業等



▲有効活用が期待されるタブレットとルーター

を活用できればと考えている。

その他の質問

○不登校について



市丸 典夫

緊急通報システムの活用は

市長

現行のシステムで対応していく



市丸 市民の安全・安心のためにということと質問をします。緊急通報システムについて安心して生活を送ることができ、非常に有意義なものであると考えるが、市長の見解は。

市丸 ひとり住まいの高齢者の方は、日々不安な気持ちで過ごされている。緊急通報システムを利用できる条件とはなにか。

福祉部長 利用条件は、65歳以上の高齢者のみの世帯、または重度の身体

障害者のうち、心疾患、脳血管疾患などの疾患があり、発作などで意識を失うおそれがある方、または急変のおそれがあり、医師が発作で意識を失う可能性がある状態と判断をされた方となっている。

市長 高齢化が進んでいる現状において、高齢者が可能な限り住み慣れた地域や住まいで自立した生活を送ることができるよう、小城市高齢者福祉計画において基本目標を自立と安心につながる支援の充実と定め、在宅生活の継続を支援する福祉サービスの一環として、この緊急通報システムを位置づけている。



▲緊急通報システム機器



諸泉 定次

進出企業との
共存共栄の考えは

市長

環境に配慮した事業活動を行って
もらっている



諸泉 工業団地の主力企業である株式会社友樹飲料と小城市との環境保全協定での井戸の取水量の確認や温水放流についての対応はどうしているか。

産業部長 環境保全協定は周辺の既設井戸に影響がないと判断された水量を上限としており苦情はない。取水量は市として把握していない。温水も基準がなく規制・指導していない。

諸泉 工業団地入口の看板に工業団地名が入っていないのはなぜか。

産業部長 進出企業3社と小城市の協議で、企業

案を了承した。

諸泉 工業団地は市が莫大な金を使いい進出していた。令和2年の豪雨災害では2億2千万円で復旧した。これらはすべて税金だ。看板は市有地に設置だ。地元との共存共栄を考えるなら、小城市水道をもう少し使ってくださいと要請したのか。



▲工業団地名が入っていない大型看板

産業部長 要請したことはない。

その他の質問

- 公立病院のあり方
- 教育環境整備



谷田 信二

防犯カメラ設置の
必要性

市長

安心感にもつながっているものと考えている



谷田 市内の安全、安心を推進することを目的として、防犯カメラ設置の必要性があると考えているが。

市長 防犯カメラが設置された場合は、その周辺地区の住民、通学路として利用する児童、生徒や保護者の方の安心感にもつながっていると考える。

農業用排水路について

谷田 三日月町は、南北に長い地域でもあり、幹線水路の役割は、農業問題だけではなく、重要な役割を担っていると思うが。

産業部長 農業用排水路には大きく2つの役割を備えている。田畑に農業用の水を導く用水路としての役割と、集落内の生活排水や農地の排水を下流の河川に流す役割がある。洪水時には一時的な貯留ポケットとして内水調整のための機能も有していることから、幹線水路として維持管理していくことは防災、減災の面においても大変重要なことと考えている。



▲機能低下する幹線水路 (三日月町)

谷田 農業用排水路の景観についての考えは。

産業部長 営農意欲の向上や施設機能を発揮させるためにも景観の回復は有意義なことと思っている。



松尾 義幸

九州探題府跡の 案内板設置を



教育長 持永城址の敷地内に
説明板の設置を検討する

松尾 ①牛津町乙柳に所在する九州探題府跡への入口の整備について。

②九州探題府跡や持永城址の案内看板の設置について。

教育長 ①水路横の通路から九州探題府跡へ入ることができると聞いている。地区住民の方に迷惑にならないよう配慮しながら出入りができたらと考えている。②教育委員

会では、屋根のない博物館事業に基づいて、市内の文化財については、順次、説明板、案内板を設置している状況。説明板は、持永城址の敷地内に設置を検討することも、案内板設置候補リス

トに追加。併せて、九州探題について記載できればと考えている。

松尾 「牛津から九州を統一した男」今川了俊と「仲秋」の映画ができ、かなり注目されていると思う。注目度はどうか。

教育長 授業に使えるようにDVDも作成。市内の学校に無料配布してもらった。熊本県のつながりのある菊池市から40名ほどの視察があった。週末は、太宰府から視察の予定。



▲牛津町乙柳の九州探題府跡入口付近

議会運営委員会 陳情・要望活動

(期間)

令和6年1月16日～17日

(陳情・要望活動)

国土交通省 道路局および

水管理・国土保全局

議会運営委員会の委員と議長、副議長同行のもと、国土交通省へ出向き、水管理・国土保全局と道路局へ陳情・要望活動を行った。

主な目的として、①昨年、多

を要請。②牛津川遊水地事業に絡む集団移転等に対するより一層の協力要請。国土交通省が現在、全国で行っている主な事業を紹介されているスペースには九州を代表する事業として小城市の牛津川遊水地事業をパネルで紹介されていた。牛津川遊水地事業は令和元年8月豪雨の直後に議員全員で要望活動を行った。

小城市が抱えている課題を伝え、この支援に繋げていくことは、改めて陳情・要望活動の必要性、重要性を実感した。

